

成	人	式					
大	改	造	!!				
U	タ	ー	ン	促	進	的	
ビ	フ	オ	→	ア	フ	タ	→

官民共同チーム「匠」 山本 泰弘／高宮 和香／岸 陽太／高橋 昌寛

本案は…

山形県の人口減少に対する施策提案

対象とするのは…

県都・山形市（人口約25万）

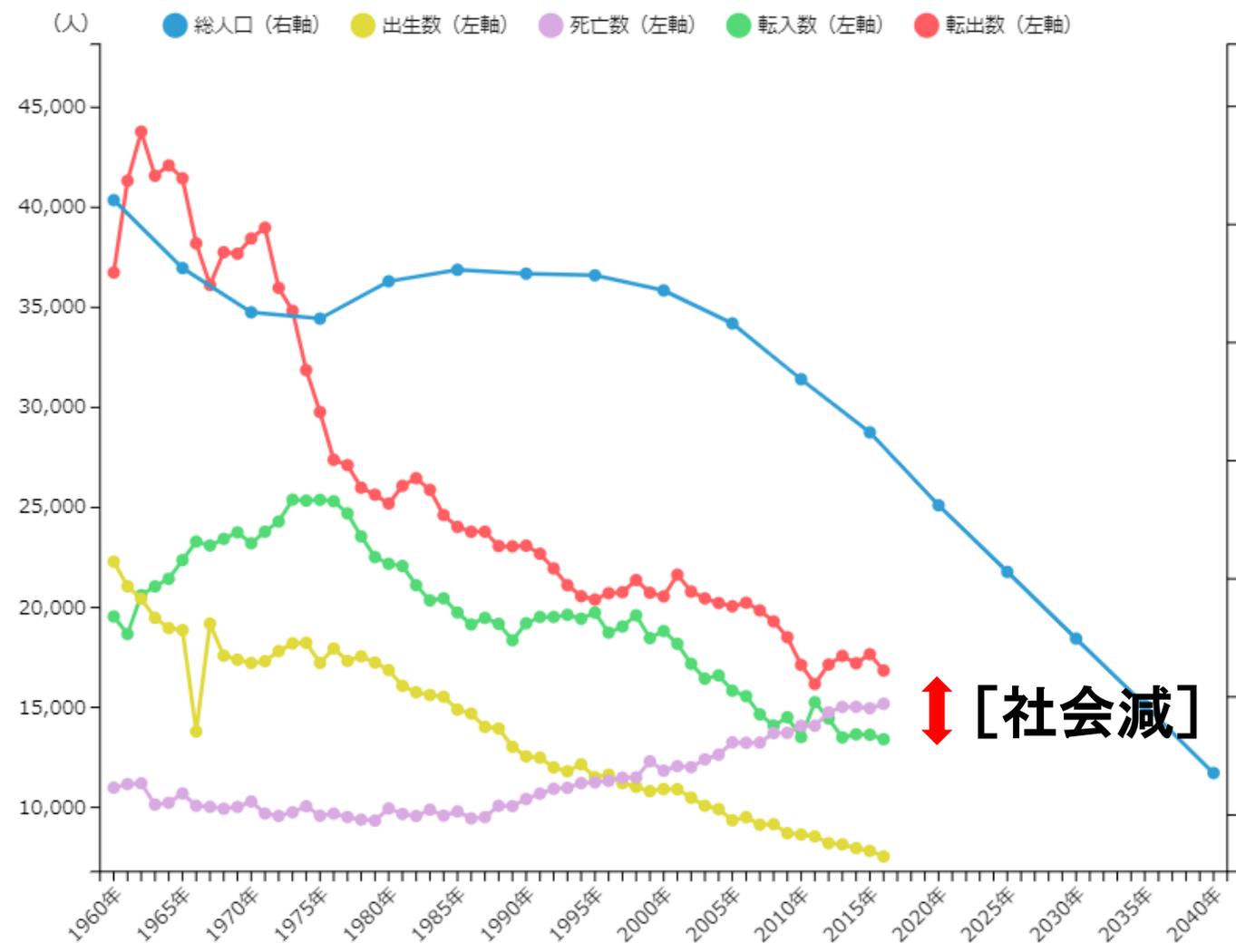
何をするかというと…

新成人にUターンを勧誘する
「民営型成人式」を開く！

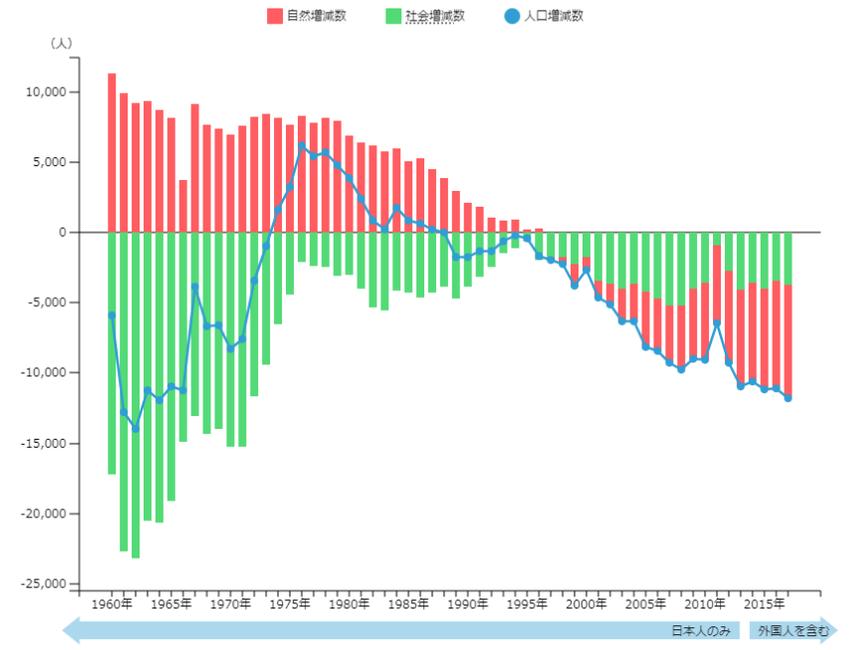


①現状分析：地域社会 山形県の総人口の推移

出生数・死亡数 / 転入数・転出数



自然増減・社会増減の推移(折れ線)



[転出数] - [転入数] = [社会減]が、人口減少に拍車をかける

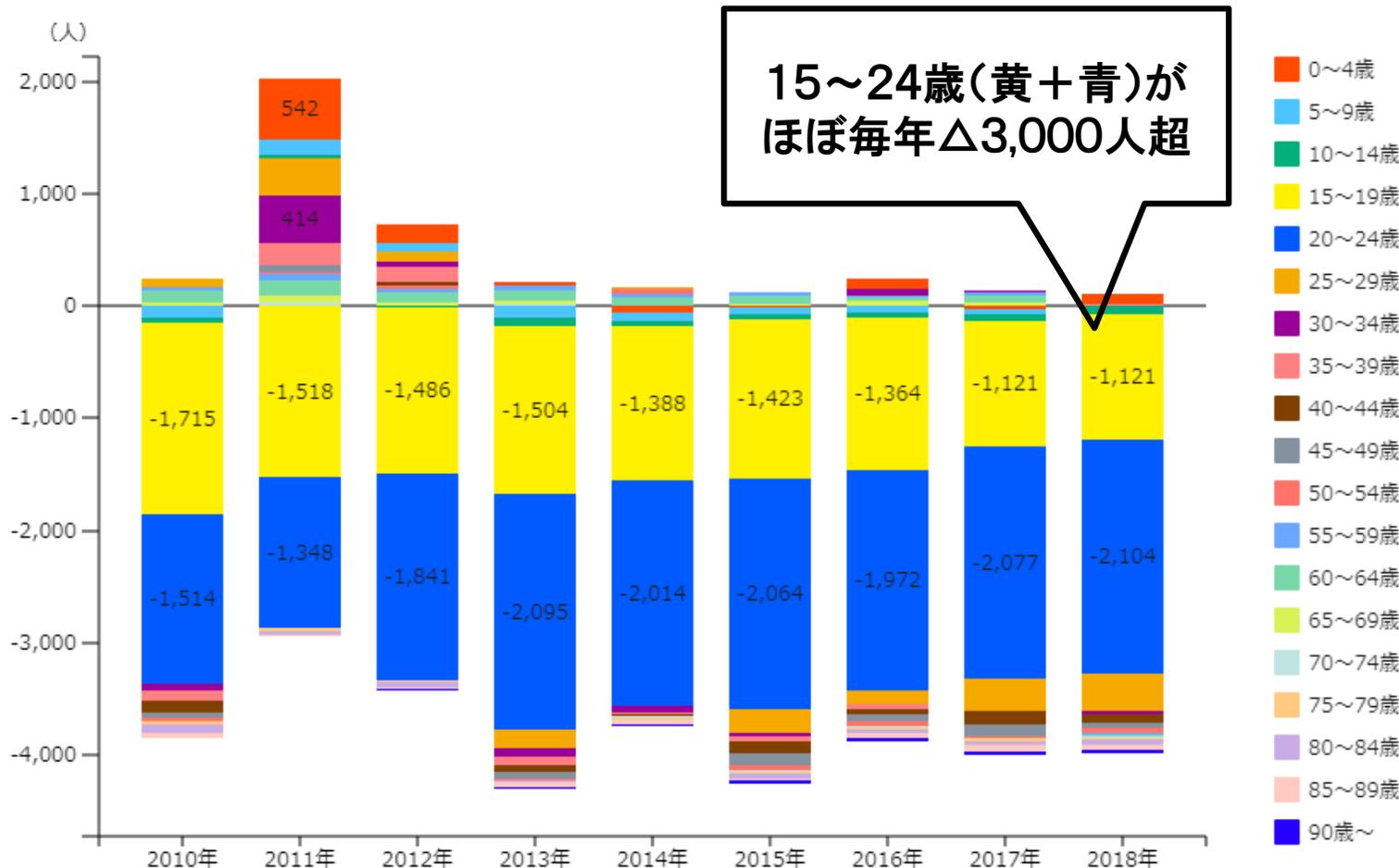
…その内訳は？

①現状分析：地域社会

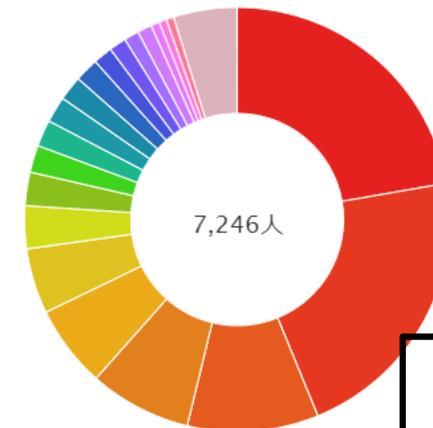
山形県の人口社会減の特徴

年齢階級別純移動数

山形県



転出数内訳
(20代、2018年)



- 1位 東京都 1,614人 (22.27%)
- 2位 宮城県 1,561人 (21.54%)
- 3位 神奈川県 723人 (9.98%)
- 4位 埼玉県 562人 (7.76%)
- 5位 千葉県 454人 (6.27%)

1位 東京
2位 宮城
3位 神奈川
で過半数

進学・就職で
大都市に行き、
そのまま帰らない若者が
多い

①現状分析：当事者の動向

若者の地元就職希望

(2020(令和2)年卒 マイナビ大学生Uターン・地元就職に関する調査)

大多数の学生は、進学先で大手就活サイト運営企業のセミナーを受け、サイトに登録して就活スタート

【山形県出身大学生】

・地元就職を希望しない理由

(複数回答、n=27)

①「志望する企業がない」59.3%

考察:

大手就活サイトユーザーに伝わる
地元企業情報はわずか。

・実現すれば地元就職するかもしれないもの

(複数回答、n=29)

①「働きたいと思うような企業が多くできる」69.0%、

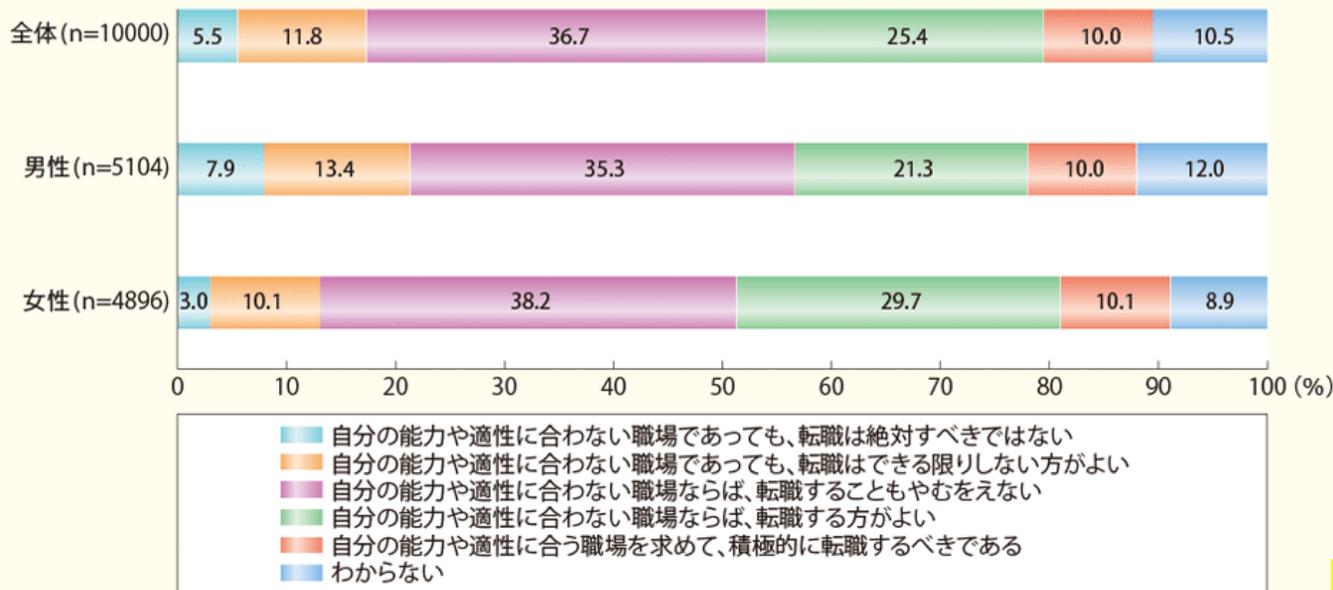
②「給料がよい就職先が多くできる」58.6%

考察:大学生は、
企業情報に接しての印象や、
給料で就職先を選んでいる

①現状分析：当事者の動向 若者の離転職実態

【若者一般】転職に関する意識 (厚生労働省平成30(2018)年版子供・若者白書)

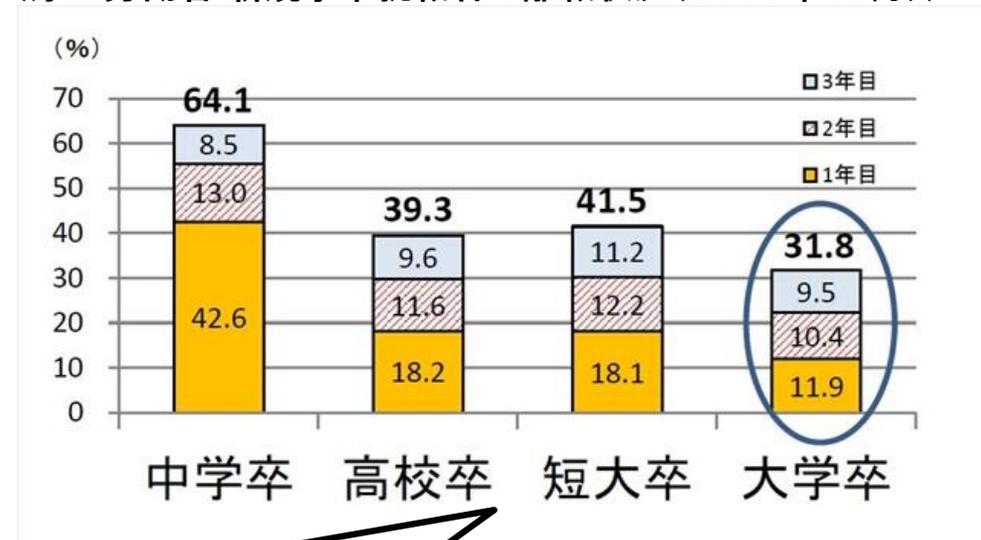
図表8 転職に関する意識



(注)「転職については、様々な考え方があります。あなたの考えに最も近いものを選んでください。」との問いに対する回答。

転職に否定的な回答は
17.3%

【若者一般】新卒入社3年以内の離職率 (厚生労働省 新規学卒就職者の離職状況(2018年10月))



全体の3~4割が離職

若者は職に対し流動的
就職してからも、
よりよい職を探し続ける傾向

①現状分析：地元経済の状況

採用難な地元企業

【山形県内企業】

・「正社員不足」なのは58.8%(2018年県労働条件等実態調査)

・人手不足の原因は ①「人材確保困難」約75%

・充足できない理由 ①「応募がない」63.6%

(山形銀行調査月報2018年9月)

・酒田青年会議所主催の地元企業合同説明会

「BEST CHOICE 就職説明会」(2019年7月7日)

→想定を超える数の企業が出展

「こんなイベントを開いてほしかった！」と歓喜の声



地元企業は若者との接点を渴望している

①現状分析 考察

在学時の就職活動では
情報量や給与など目につきやすい要素で大都市の企業を選択し、
 その後、年を重ねるにつれ、生活で重視する要素が変わっても、
惰性で大都市に定着する若者が少なくない

“一流企業で高所得、
 でも自由な時間がなくレジャーも手が出ない…。
 孤独な子育てに疲弊する毎日…”



職の流動性が高い若年のうちに
 Uターンをアピールできれば、
 就職・離転職・結婚などの節目で
 Uターンを選択する若者が増えるはず

就活サイト以外の経路で
 地元企業情報に接する
 機会を設け、給料面以外の
 アピールをするべき

①現状分析

対処方針

◎やるべきこと:

県外転出者に対し、
Uターンの選択肢を印象付ける



◎しかし現状は…:

Uターンを考えていない県外転出者に
アプローチする機会がほとんど無い

(あるのは
“Uターン希望者向けの”説明会→)



そこで、多くの地元出身者が
一堂に会する「成人式」に注目！

◎ターゲット:

**域外に進学・就職し、
成人式に集まった
20歳の若者**



20歳は一般に…

大学進学者→就活目前
高卒就職者→離職多数



これらの若者にアピールできる
最大のチャンス！

①現状分析 山形市「成人の祝賀式」

日時：2019年1月13日(日)10:50～12:00

会場：山形市総合スポーツセンター アリーナ

(市職員が床にシートを張り、1,000脚以上のパイプ椅子を並べて準備)

(市郊外の体育館に約2,000人が(ほぼ全員自家用車で)集結)



プログラム：市長祝辞、新成人代表の誓い、謎の市民歌(誰も知らない)、

何が目的？

子どもたちのステージ(休日動員)、ゆるキャラと地元クイズ

恩師登壇(市内全中学から合計30分) 等

終了後：機械的に退場させる

新成人が屋外の広場に滞留(付近に飲食店等無し)

せっかくの機会が、
役所による
役所のための
行事に

①現状分析 成人式・就職活動の実態

実態①: 県内市町村の成人式を報じる記事(2018年8月16日山形新聞)
市長祝辞、成人代表の誓い、市町村民歌斉唱…

⇒ユニークな取り組みほぼ無し。前例踏襲主義

実態②: 自治体担当者アンケート(抽出、2013年10月(株)アナザーブレイン)
成人式を開催する目的に「経済振興政策のため」を含む… 0/87自治体

「地域づくりに参加させるきっかけ」を含む… 14/87自治体

⇒運営に地域生存戦略が欠如

実態③: 地元企業採用担当者の声

“就活戦線はますます早期化。大学3年時にインターンするのが当たり前。
大手企業は広告費を潤沢に投じてインターン募集(≒青田買い)している。”

⇒地元企業が成人式にコミットするインセンティブは高い

② 施策提案

そこで…

これまでの“官営成人式”に代え、
地元企業主導の「**民営成人式**」を開催。

地域経済の存亡を懸けた

“**UターンPRパーティー**”とする！

② 施策提案 民営型若者向けイベント例

2018年8月12日 第1回酒田市三十路式

発案・主導：地元イベント会社

後援：酒田市、酒田商工会議所、酒田青年会議所
（地元企業への就職やUターン支援施策をPR）

協賛：地元企業約40社

（豚肉やハム、メロン、せんべいなどを現物支給し、開催を支援）



**このイベントを、開催決定から2か月弱の準備期間で実現
⇒地元企業にはそれだけの危機感と行動力がある**

（出典：2018年8月14日荘内日報）

② 施策提案 大改造ビジョン：当事者視点

官営成人式



会場：体育館＋パイプ椅子

内容：市長祝辞、成人代表の誓い、
恩師登壇、記念撮影 → 解散
“もっとしゃべりたかったのに追い出された…”



事後：二次会（幹事に重責）
飲み食いするだけ
“あー楽しかった”（何も残らない）



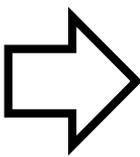
数月後：“大手就活サイトで就活だ”
（地元のことは忘れ、都会志向に）



十数年後：思い返せば地元のほうがよかった…
（後の祭り）



Before



民営成人式



会場：ホテルや結婚式場

内容：地元で働き暮らす若者のPV、
住宅・車・式場のプロモーション、
地元で働く若者も交えた
立食パーティー（地元産ドリンク・食材）
“地元にはこんな暮らし方があるんだ…*°ω°*”



事後：二次会（事務局が演出）
“みんな将来どうする？”



数月後：“就職は都会かなー 地元もなくはないけど”

【定期的に地元転職&暮らし方情報が届く】

数年後：“やっぱりUターンするか…！”



After

② 施策提案 大改造ビジョン：運営側視点

官営成人式



運営：市教育委員会
+ 新成人の実行委員会(調整が面倒)

姿勢：【前例踏襲】
生涯学習なのでUターンへの意識薄
一応地元PR資料配布→大半は見ず

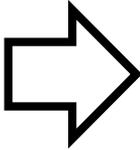
業務：役場職員みずから企画・調整・発注
↑ イベント運営の素人
“未来ある若者のために…！”
↑ 謎のやりがい



事後：個人情報保護の観点から
アフターサービスできない



Before



民営成人式



運営：民間イベント事業者を中心とした事務局
(市が委託。市は対象者を招待)

姿勢：【生存戦略】
将来の人材・顧客獲得の最大のチャンス！
地元企業が全力を挙げて歓待

業務：事務局プロ集団が華麗にさばく
地元企業からの協力が続々
役場はその後援に回り、業務縮減



事後：本人の同意を得て連絡先を収集
→ 折々に、各種情報を届ける
(19ページ参照)



After

②施策提案 関係者の反応

◇A市長

「さっそく部長会議で共有しました。本市でも成人式のあり方を考えてみたい」

◇B市副市長

「十分採択しうるアイデアと思いました」

◇転職支援企業C社長

「なんでこんなおもしろいこと思いつくの！」

◇シンクタンクD研究員

「たいへん面白い企画だと思います。社会実験するなら協力します」

◇公務員養成校E講師

「20歳前後の学生達に紹介したところ、おもしろい！と言っていました」

◇F市職員【戦略的助言】

「現実的には、既存のものを徐々に変えていく必要がある」

② 施策提案 山形市での実現プラン

既存の成人式を一気に民営化するのは困難

→ 漸進策：官営成人式を簡素化し、同じ年のお盆に再び、民営成人式を開く

官営成人式(正月)の簡素化

- ◎市長・議長はメッセージ動画(90秒)で登場
→ 職員の段取り事務が激減
- ◎市民歌や子どもステージ、恩師メッセージ
などをやめ、プログラムを圧縮(30分位に)
- ◎恩師を含めた歓談の時間を十分にとる
- ◎新成人に「LINE@」登録を求め、
お盆の民営成人式を予告

民営成人式(お盆)の開始

- ◎実施体制：市(雇用対策課)から民間事業者に
実証事業として委託
- ◎受託企業(事務局)が、企業からの協賛を集め、
新成人や地元の若者(社会人・学生・生徒)の
協力を募って、イベントを企画
- ◎正月に続く再会の場としてアピール
(お盆と年末年始に集うことを習慣化)

(仮称) 「やまがた夏の成人式アンコール」

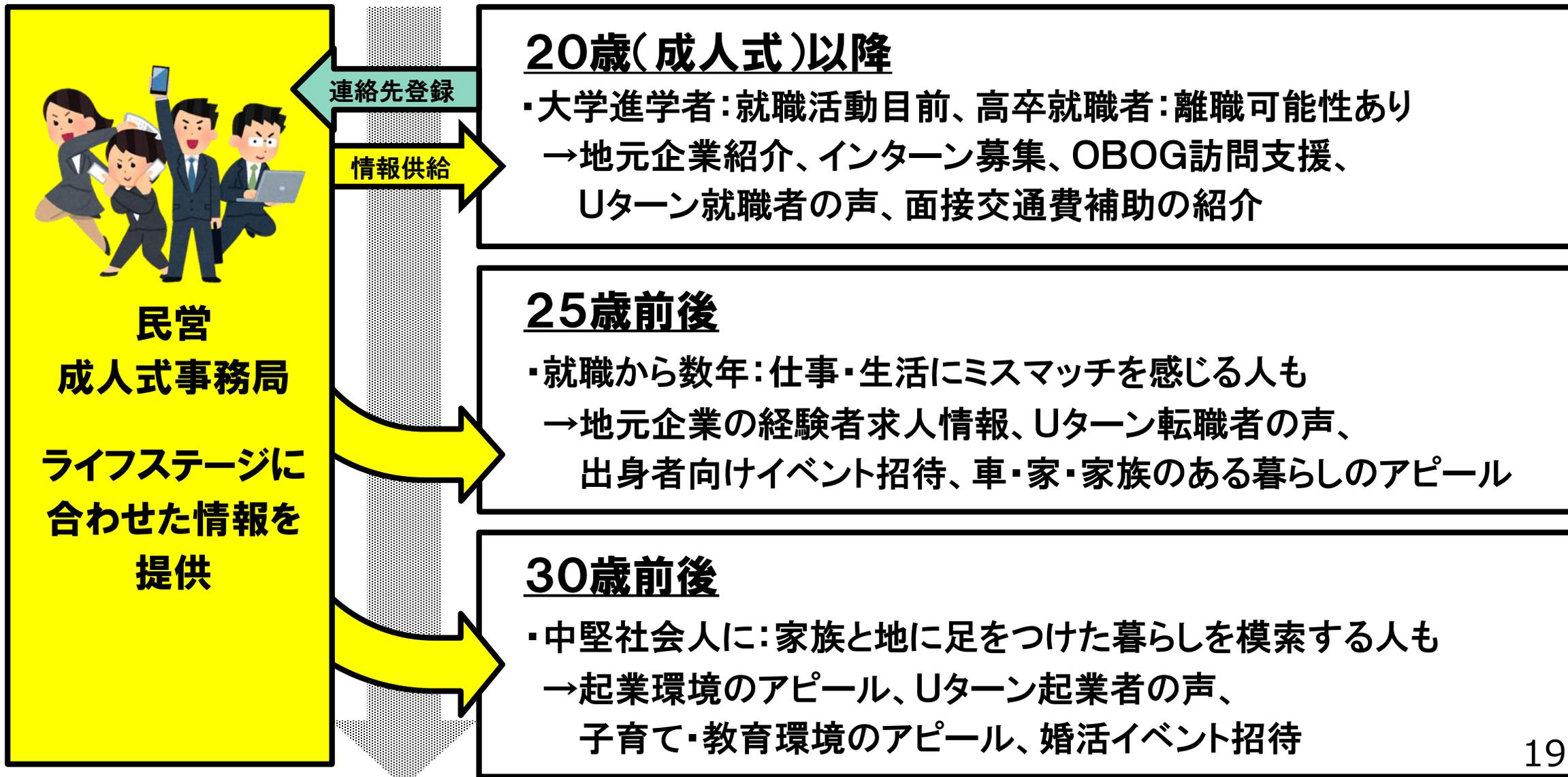
- ◇日時:8月お盆の一日 15:00~17:30
(終了後、仲間と二次会へ)
- ◇会場:市中心部のホテル(協賛企業)
(参加者多数の場合、分散開催)
- ◇対象:山形市にゆかりある新成人
(出身者以外もOK。市在住の新成人に加え、市内大学等や高校同窓会を通じて集客)
- ◇アトラクション(一例):
 - ・地元ライブを映し出すオープニングムービー(自動車業界・住宅業界提供)
 - ・県産ドリンクで乾杯(酒造・飲料業界提供)
 - ・歓談中、突如始まる模擬挙式(ウエディング業界提供)
 - ・特設ブースで先輩社会人トークショー(記事化して後日配信)



イメージとして引用:
2015年1月
東北芸工大による
新成人向けイベント

② 施策提案

長期的視野



御清聴ありがとうございました。

【重要参考文献】

- ◇RESAS 将来人口推計／人口の社会増減／新卒者就職・進学 等
- ◇山形県人口減少対策PT 「『Ⅱ 人材の県内定着・県内回帰推進チーム』中間報告」、2014年。
- ◇株式会社マイナビ「2020年卒 マイナビ大学生 Uターン・地元就職に関する調査」、2019年。
- ◇株式会社アナザーブレイン「成人式に関するアンケート調査結果」、2013年。

【重要参考事例】

- ◇山形市成人の祝賀式 ◇東根市成人式 ◇遊佐町三十路成人式 ◇酒田市三十路式
- ◇東北芸術工科大学「Celebration The age 20 Party」（2015年1月11日）
- ◇酒田青年会議所主催「BEST CHOICE 就職説明会」（2019年7月7日）

【スペシャルサンクス】「成人式・三十路式タウンミーティング」ご参加のみなさん→

